



2018年9月号

# ウトナイ湖通信

No.172

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 発行

## トピックス

### 「夏休みこどもスペシャル」を開催しました！

夏休みに入ったこどもたち(小学3~6年生)を対象に、当センターの仕事を体験し、傷病鳥獣救護施設を見学する「こどもスペシャル」を7月29日(日)に開催。市内外から11名の小学生が集まりました。

まず環境省のアクティブレジャーから、ゴミが野生動物や生態系に与える影響とゴミが原因で傷ついた野鳥の症例について説明を受け、ウトナイ湖畔でゴミ拾いを実施。その後、普段は非公開の傷病鳥獣救護施設へ移動し、救護員の案内でケガをして運び込まれた傷病鳥や、実際に鳥が飲み込んだ釣り針などを見学しました。最後に、ウッドデッキのペンキ塗りを行い、みんなで記念撮影をしました。夏休みの自由研究のまとめで、後日、話を聞きにきてくれた参加者もいました。



ゴミ拾い活動



ペンキ塗り



記念撮影

### 野外ではウォークラリー、館内では足跡を追跡



自然観察路でクイズに挑戦

す。ゴールで答え合わせをし、参加賞に限定のしおり、全問正解賞にシールをお渡ししました。

また、同時期に当センター内では、足跡を追跡してその先にいる持ち主を探すクイズも開催。8種の生きものすべてを探し出せず、何度も挑戦する家族もいらっしゃいました。

ウトナイ湖の夏を親子で楽しんでいただこうと、春の大型連休に続き「ウォークラリー」を開催しました。天候にはあまり恵まれなかったものの、7月下旬~8月中旬の8日間に104組282人の皆さんが参加。1周約500メートルの自然観察路で、ヨツバムグラの茎や葉に触るなど、五感を使って自然を観察しながら、8個の設問に答えていきます。



館内には、こんな足跡もありました

【自然観察路情報】

2018年8月17日(金) 10:00~12:00

観察された生きもの

《野鳥》

オオハクチョウ、カイツブリ、ソリハシシギ、イソシギ、カワセミ、コゲラ、ハシブトガラ  
シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、センダイムシクイ、メジロ、コサメビタキ、アオジ

《植物》

ホザキシモツケ、ナガボノシロワレモコウ、キンミズヒキ、アキカラマツ、ネジバナ、エゾカワラナデシコ  
ガガイモ、ノコギリソウ、ヤナギタンポポ、カセンソウ、ハンゴンソウ、ヒヨドリバナ、シロネ  
イヌゴマ、ハッカ、ミゾソバ、オトコエシ、サワギキョウ、エゾミソハギ、クサレダマ、トモエソウ  
ツリフネソウ、ゲンショウコ、ウド、ノリウツギ、ヤブハギ、ケヤマウコギ(以上、花)  
ナワシロイチゴ、ミヤマザクラ、ズミ、カラコギカエデ、エゾニワトコ、キハダ、ウド  
コナラ、ミズナラ、ハンノキ、マユミ、ノブドウ、イシミカワ(以上、実やタネ)

《昆虫・その他》

ジャノメチョウ、オオヒカゲ、ミドリヒョウモン、フタスジチョウ、モンキチョウ、ゴマシジミ、アキアカネ  
セスジイトトンボ、ハネナガキリギリス、ハッカハムシ、セイヨウオオマルハナバチ、ニホンカナヘビ

カワセミ



イソシギ



ノリウツギ



【水鳥カウント調査結果】

2018年8月17日(金) 15:00~16:00

観察された水鳥、水辺の鳥、ワシ・タカ類ほか \* ( )内は個体数

コブハクチョウ(6)、オオハクチョウ(5)、カイツブリ(10)、カンムリカイツブリ(5)  
カワウ(1)、アカエリヒレアシシギ(1)、ユリカモメ(1)、トビ(1)、オジロワシ(2)  
ショウドウツバメ(6)、種不明ツバメ類(1)

カイツブリ



9月の自然予報

すでに確認されているカモ類に続き、中旬にはガン類  
(ヒシクイ、マガン)が渡来するでしょう。

数は少ないものの、8月はソリハシシギやアオアシシギ  
などのシギ類が確認されました。水位が下がって泥地が出  
現すれば、他のシギ類も期待できるでしょう。

「ハクチョウの小径」など、湖岸の自然観察路ではエゾ  
リンドウの青紫色の花が目立つようになるでしょう。

カンボクやチョウセンゴミシなど色づいた木の実が見  
られるようになるでしょう。野鳥やシマリスなどの食べる  
様子が観察できるかも知れません。

夏によく見られたイトトンボの仲間に代わり、アキアカネ  
やノシメトンボなど、アカトンボの仲間が見られるでしょう。

ハネナガキリギリスやカントンなど、いわゆる「鳴く虫」の  
声が聞かれるでしょう。



下旬からはマガンなどの群れでにぎわう



カラフルなノブドウの実



翅に褐色の帯があるミヤマアカネ

【アキノウナギツカミ】

タデ科の植物で、湿った場所に生えます。ひろりと伸びた茎には下向きのとげがあり、ぬるぬるしたウナギもつかめる、というのが名の由来となっています。秋に小さなピンク色の花を数個付けます。



\*ウトナイ湖に関するクイズ

毎回、その月にあわせたテーマで出題して、あなたもウトナイ博士になれるのかも。

Q. 秋はエゾシカの交尾期。立派な角を持ったオスの鳴き声を耳にすることもあります。さて、イラストにあるオスのエゾシカ。年齢はいくつでしょう。

- (あ) 2歳
- (い) 3歳
- (う) 4歳



答えは最後のページにあるよ。

傷病鳥獣ルームから



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺（苫小牧市行政区域内）において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をみなさまに知っていただくコーナーとして、ここでご紹介いたします。

コムクドリ

2018年 7月 8日 噴れ 12:00

苫小牧市内の学校の玄関前で動けずにとどまるのを保護

体重 48g



右眼からの出血



群れの中でリリースしました

7月8日 初診にて、右眼および口腔内に出血を認める。



呼吸も荒いため呼吸器の損傷を疑い、保温・安静処置とする。

7月9日 体重が大幅に減少。ミルワームの強制給餌を開始。

7月10日 自ら少しずつ餌を食べるようになる。

7月13日 呼吸も正常になり、十分な飛翔能力を確認。

7月15日 屋外にコムクドリの群れが飛来したため、その場所でリリース。無事、群れに合流した。

コムクドリ (スズメ目ムクドリ科)

繁殖のため、本州中部から北海道に夏鳥として渡来します。雄は頭部が白く、頬から耳羽にかけて赤茶色の大きな斑があり、よく目立ちます。主に樹洞やキツツキ類の古巣に営巣します。木の実や芽、昆虫を食べ、サクランボやブドウなどを食べることもあるため、果樹園などでは歓迎されません。

☆ ウトナイ湖へ渡って来るのはいつ？ オオハクチョウの渡来日予想クイズ ☆

例年 10 月にロシアから渡ってくるオオハクチョウ。2018 年秋の「渡来日」を当ててください！

野生鳥獣保護センター内に用意した応募用紙に必要な事項を記入の上、9 月 1 日(土)～30 日(日)に、同センター内の応募箱へお入れください。「渡来日」を見事当てた 1 名様には、野鳥カレンダーなどの「ズバリ賞」を用意しています。(正解者多数の場合は抽選)。

なお、「渡来日」は「渡って来たオオハクチョウをレンジャーが確認した日」とします。応募期間終了後、レンジャーが渡来を確認したら、すみやかに当選者を決定し、電話でお知らせします。

☆ このクイズは、10 月 6 日(土)～10 月 8 日(月・祝)に野生鳥獣保護センターで開催する「ウトナイ湖・渡り鳥フェスティバル」のプレイベントです。

☆ ウトナイ湖には、ケガをして繁殖地に帰れず、夏の間も見られるオオハクチョウが 10 羽ほどいます。混同しないよう、ご注意ください。

☆ ヒント:過去の渡来日は以下のとおりです。参考にしてください。



	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
渡来日	10/17	10/15	10/10	10/6	10/15	10/8	10/8	10/15	10/6	10/12	10/12

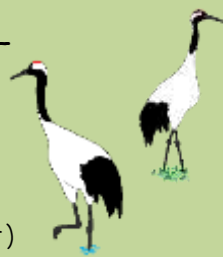
第 1 回 野生動物に学ぶ救護セミナー  
～タンチョウを地域で守る～

日時: 9 月 22 日(土)10:00～12:00

対象: 高校生以上

定員: 申込み先着 20 名 (9/1 から受付)

内容: タンチョウの生態やこれまでの保護活動について、また、むかわ町で繁殖を始めたタンチョウを地域で見守る活動について、講師からお話を伺います。



市民ギャラリー

「アクティブレンジャー写真展  
～北の自然の舞台裏～」

日時: 9 月 1 日(土)～9 月 30 日(日)

展示: 環境省

\*アクティブレンジャーとは、自然保護官の補佐役として、国立公園等のパトロール、調査、利用者指導、自然解説などの業務を担う環境省の職員です。

◆ウトナイ湖◆

周囲約 9km、面積約 275ha、平均水深約 0.6m の淡水湖です。

鳥類はこれまでに約 270 種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。このためウトナイ湖は、国指定鳥獣保護区特別保護地区、ラムサール条約湿地、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに指定、登録されています。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆

環境省が「野生鳥獣との共生環境整備事業」により建設し、苫小牧市と共同管理する施設です。

また、苫小牧市が業務の一部を(公財)日本野鳥の会に委託しています。

【利用案内】

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 TEL. 0144-58-2231 / FAX. 0144-51-8600

入館無料 / 開館時間: 午前 9 時～午後 5 時 / 休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

